

チームエッフェガーラ

津村 知明

レースレポート

2010年7月4日

IMPカートレース第4戦

SSクラス(参加6台)

CIRCUIT : 井頭モーターパーク

フレーム : birel RX31SE

エンジン : YAMAHA KT100SD

タイヤ : BS SL07

エンジニア: 加藤 真(レーシングサービス エッフェガーラ)

メカニック: 月岡 雅隆(チーム エッフェガーラ)

◆レース結果

TT 2位

予選① 1位

予選② 4位

決勝 6位

◆シリーズランキング

2位(48ポイント)

第4戦終了時点

公式・TT

朝方は路面は濡れていましたが公式までに乾いて全車ドライ。TTは慎重になり過ぎて思い切った走りが出来ず、バーミヤンがトップで自分は2番でした。

予選

予選1は、スタートで2番をキープ出来たので終始バーミヤンとデールトゥノーズ状態でファイナルラップの4で抜いてトップでチェッカー。3の立ちをひたすら練習した成果がありました。予選2は、スタートでイン側が電車状態に入るスペースが無く頑張り過ぎて4番まで落ち、挽回が難しいと判断して決勝に向けたマシンチェックに費やし4番でチェッカー。

決勝

決勝は2番スタートで再びアウトだったのでスタートは無理せず3位で抜けて、直ぐに2位まで上がった。8周目までにトップバーミヤンに追いついてデールトゥノーズまで持っていたので ここまでは戦略通り。チャンスがあれば抜いてやろうと思ってビタビタにつけて走っていた17LAP目の3コーナー、立ちでミスったところを4で刺すことができトップに浮上。しかし次週の4コーナーであっさり刺されて再び2位に落ちる。抜いた後 引き離せるまでの強さがまだ無い。勝負どころを最終ラップに決めてタイミングを合わせていたが、ファイナルラップに入る最終コーナーで力が入り過ぎエンセキに落としてしまい立ち上がり鈍る。肝心なところで痛恨のミス。追いついたものの、4はブロックラインを取られたのでチャンスは複合進入しかなくなる。今回のレースでバーミヤンに負けると自力チャンピオンが無くなってしまうので 何とかして抜きたい所だがダメだった。複合進入で飛び込んだが2台してクラッシュ。もてきの時と同じような感じになり、結局、バーミヤン5位、自分は6位でした。

レースを終えて

今回もペースは良かったので、上手なレース運びをすれば充分勝てるはずだったのに、肝心なところでミスしたのは今後の最重要課題。

抜いたのにあっさり抜かれてしまうなど 引き離せる強さが無いのも課題として残る。

クラッシュについては、

1. 最終ラップ前 肝心なところでミスさえしなければ リスキーなパッシングは必要無かった。
2. インが空いてるなら飛び込むのは当然だが、飛び込んだら止める責任を持つ必要があった。

今回のクラッシュで失った物は多く、

自分にとってもチームにとっても、オフィシャルにも心配をお掛けしたし 最悪な結果に終わったのが残念でなりません。

最後に

今回、監督代行兼メカニックで参加頂いた『月岡雅隆さん』には感謝したい。